

第 7 次国有林野施業実施計畫書 (案)

(富士森林計画区)

計画期間 自 令和8年4月1日
至 令和13年3月31日

関 東 森 林 管 理 局

目 次

1	国有林野の区画の名称及び区域並びに機能類型及びエリア別の区域	1
2	施業群の名称及び区域、伐期齢又は回帰年、上限伐採面積、伐採箇所ごとの伐採方法及び伐採量並びに更新箇所ごとの更新方法及び更新量	1
(1)	伐採造林計画簿	1
(2)	水源涵養タイプにおける施業群別面積等	1
(3)	水源涵養タイプの施業群別の上限伐採面積	2
(4)	伐採総量	3
(5)	更新総量	5
(6)	保育総量	5
3	特に効率的な施業を推進する森林の所在地及び面積	6
4	林道等の整備に関する事項	7
5	治山に関する事項	10
6	保護林及び緑の回廊の名称及び区域	11
(1)	保護林の名称及び区域	11
(2)	緑の回廊の名称及び区域	14
7	樹木採取区の名称、所在地及び面積	16
8	レクリエーションの森の名称及び区域	17
9	国有林野と一体として整備及び保全を行うことが相当と認められる民有林野の整備及び保全等に関する事項	28
(1)	森林共同施業団地の名称及び区域	28
(2)	公益的機能維持増進協定の名称及び区域	29
10	その他必要な事項	30
(1)	施業指標林、試験地等	30
(2)	フィールドの提供	33
(3)	その他	35

附属参考資料

(1)	国有林野の現況	37
(2)	機能類型別の国有林野の現況	39
(3)	林道等の現況	40
(4)	収穫予想表	40
(5)	地元施設等の現況	40

1 国有林野の区画の名称及び区域並びに機能類型及びエリア別の区域

国有林野の区画の名称及び区域並びに機能類型及びエリア別の区域については、別添国有林野施業実施計画図による。

2 施業群の名称及び区域、伐期齢又は回帰年、上限伐採面積、伐採箇所ごとの伐採方法及び伐採量並びに更新箇所ごとの更新方法及び更新量

(1) 伐採造林計画簿

伐採・更新箇所ごとの伐採・更新面積及び方法等については、別冊「伐採造林計画簿」に示すとおりである。

(2) 水源涵養^{かん}タイプにおける施業群別面積等

(単位：面積 ha、伐期齢 年)

施 業 群	細 分	面 積	取 扱 い の 内 容	伐期齢又は回帰年
通常伐期	スギ分散伐区	27.47	森林の管理経営の指針による	55
	ヒノキ分散伐区	1,774.08	〃	60
	カラマツ分散伐区	1.12	〃	60
長伐期	スギ長伐期	52.06	森林の管理経営の指針による	100
	ヒノキ長伐期	987.64	〃	100
	カラマツ長伐期	82.41	〃	100
複層林	スギ複層林	4.21	森林の管理経営の指針による	55(注2)
	ヒノキ複層林	118.58	〃	60(注2)
	その他複層林	81.03	〃	60(注2)
そ天の然他林	択伐	436.36	〃	回帰年は定めない
	その他	194.62	森林の管理経営の指針による	定めない
設 定 外 (注1)		180.50		定めない
合 計		3,940.08		

(注) 1. 施業群設定外は分収林、更新困難地等の特定の施業方法を設定することが適当でない林地とする。

2. 複層林の上層木の伐採は下層木の植栽から20年以上経過してから実施する。

3. 面積は林地面積を計上している。

(3) 水源涵養タイプの施業群別の上限伐採面積

(単位：ha)

施 業 群	上限伐採面積	備 考
通 常 伐 期	150	スギ分散伐区 ヒノキ分散伐区 カラマツ分散伐区
長 伐 期	56	スギ長伐期 ヒノキ長伐期 カラマツ長伐期
複 層 林	26	スギ複層林 ヒノキ複層林 その他の複層林
天 然 林・そ の 他	63	択 伐 そ の 他
合 計	295	

(注) 備考欄は、施業群の細分である。

(4) 伐採総量

(単位：m3)

区 分			林 地					林 地 以 外	合 計
			主 伐	間 伐	小 計	臨時伐採量	計		
山地災害防止タイプ			7,584	91,437 (867.19)	99,021				
自然維持タイプ			－	112 (1.33)	112				
森林空間利用タイプ			－	13,648 (135.90)	13,648				
快適環境形成タイプ			－	－	－				
水 源 涵 養 タ イ プ	通常伐期	スギ分散伐区	40	－	40				
		ヒノキ分散伐区	27,869	41,332 (461.68)	69,201				
		カラマツ分散伐区	－	－	－				
	長伐期	スギ長伐期	－	356 (2.91)	356				
		ヒノキ長伐期	5,821	14,346 (139.44)	20,167				
		カラマツ長伐期	－	－	－				
	複層林	スギ複層林	－	945 (4.21)	945				
		ヒノキ複層林	743	2,602 (23.26)	3,345				
		その他複層林	－	－	－				
	天然林・その他	択伐	－	152 (1.40)	152				
		その他	－	110 (1.57)	110				
	設定外		3,773	3,734 (82.86)	7,507				
	計		38,246	63,577 (717.33)	101,823				
	合 計			45,830	168,774 (1,721.75)	214,604	15,000	229,604	－
年 平 均			9,166	33,755 (344.35)	42,921	3,000	45,921	－	45,921

(注) () は、間伐面積(ha)である。

(再 掲) 市町村別内訳

(単位：m3)

市 町 村 名	林 地					林 地 以 外	合 計
	主 伐	間 伐	小 計	臨時伐採量	計		
沼津市	16,958	17,769	34,727				
富士宮市	15,718	51,543	67,261				
富士市	4,025	18,830	22,855				
御殿場市	2,655	19,059	21,714				
裾野市	—	7,114	7,114				
長泉町	446	2,816	3,262				
小山町	6,028	51,643	57,671				
合 計	45,830	168,774	214,604				

(注) 市町村別内訳には、臨時伐採量及び林地以外の土地に係る伐採量は含まない。

(5) 更新総量

(単位：ha)

区 分		山 地 災 害 防 止 タ イ プ	自 然 維 持 タ イ プ	森 林 空 間 利 用 タ イ プ	快 適 環 境 形 成 タ イ プ	水 源 涵 養 タ イ プ	合 計
人 工 造 林	単 層 林 造 成	63.23	—	5.33	—	151.08	219.64
	複 層 林 造 成	30.53	—	—	—	3.09	33.62
	計	93.76	—	5.33	—	154.17	253.26
天 然 更 新	天然下種第1類	—	—	—	—	—	—
	天然下種第2類	—	—	—	—	—	—
	ぼ う 芽	—	—	—	—	—	—
	計	—	—	—	—	—	—
合 計		93.76	—	5.33	—	154.17	253.26

(6) 保育総量

(単位：ha)

区 分		山 地 災 害 防 止 タ イ プ	自 然 維 持 タ イ プ	森 林 空 間 利 用 タ イ プ	快 適 環 境 形 成 タ イ プ	水 源 涵 養 タ イ プ	合 計
保 育	下 刈	217.14	—	12.79	—	428.53	658.46
	つ る 切	21.59	—	—	—	98.94	120.53
	除 伐	19.73	—	—	—	82.19	101.92

3 特に効率的な施業を推進する森林の所在地及び面積

所 在 地 (林 小 班)		面 積 (ha)
42	ほ	175.03
170	り5、わ1、わ2、よ、お1～く2	
194	ら2	
198	に	
199	れ	
200	は、に、ち～ぬ、ね5、む	
257	に2	
260	い1～ろ、に～ほ4	
265	に	
266	い2、へ2、と2	
267	ろ1、ほ3、ほ4、と2	
418	い1～い3、へ	
423	い1～い9	
442	ろ2、ろ4	
488	ほ	
492	は、に	
497	ろ～に	
506	ろ1	
510	ろ	
511	は	
518	と	
546	い、に3～に5、ほ	
549	り	
553	い1、ろ	
560	い3、ろ	

4 林道等の整備に関する事項

基 幹・ その他別	開 設 ・ 改 良	路 線 名	箇 所 (林 班)	延 長 (m)	備 考
基 幹	改 良	愛鷹（愛鷹）	415外	70	
		愛鷹（池ノ平）	432外	100	
		富士山（大淵）	193外	90	
		富士山（北山）	117外	80	
		富士山（上井出）	251外	60	
		富士山（大宮）	109外	40	
		富士山（大宮間伐）	161外	30	
		西富士（北山）	70外	40	
		西富士（十万石）	21外	20	
		西富士（栗ノ木沢）	22外	10	
		西富士（栗ノ木沢支線）	8外	15	
		表富士（二合目）	156外	20	
		乙女（金時山）	560外	40	
		乙女（二子山）	579外	20	
		乙女（深沢）	570外	30	
		乙女（乙女）	560外	45	
		愛鷹（細野沢）	446外	30	
		湯船（湯船）	549外	100	
		湯船（唯念寺）	536外	20	
		湯船（横道）	530外	10	
	小 計	20路線		870	
そ の 他	開 設	愛鷹山	424外	3,300	
		広見東支線	263外	2,280	
		六番	111外	770	
		大沢第二	288外	1,560	
		大沢支線	293外	730	
		西臼塚支線	162外	4,820	
		吉原支線	171外	920	
		白塚	99外	3,530	
		西臼塚	203外	810	
		二番	203外	2,540	
		大淵支線	202	650	
		浅木塚支線	205	580	

基 幹・ その他別 そ の 他	開 設 ・ 改 良	路 線 名	箇 所 (林 班)	延 長 (m)	備 考
	開 設	深沢支線	573外	2,290	
		浅木塚	479外	1,650	
		湯船第二支線	545外	1,050	
	小 計	15路線		27,480	
	改 良	愛鷹	432外	20	
		春山	409外	50	
		愛鷹支線	437外	40	
		春山支線	402外	10	
		本沢	418外	10	
		大沢	300外	10	富士宮市
		大沢	411外	20	沼津市
		大沢支線	419外	20	
		北山	299外	15	富士宮市
		北山	523外	30	小山町
		十万石	38外	15	
		一本木	250外	20	
		広見	257外	20	
		栗ノ木沢	15外	15	
		吉原	171外	50	
		白塚	102外	40	
		桜木	262	30	
		桜木西	254外	35	
		六番	164外	20	
		上井出支線	43外	25	
		今井沢	264	15	
		深沢	261外	10	
		吉原支線	171外	40	
		一本木西	251外	15	
		鉄塔土場	247外	20	
		広見東	267外	10	
		広見北	266外	15	
		高土	38外	15	
		表臼塚	56外	20	
		大沢第2	292外	40	

基 幹・ その他別 そ の 他	開 設 ・ 改 良	路 線 名	箇 所 (林 班)	延 長 (m)	備 考
	改 良	丸尾	200外	15	
		西臼塚	203外	55	
		大渕支線	197	10	
		浅木塚	205外	40	
		長尾	580外	15	
		長尾支線	581	5	
		南山	459外	20	
		下和田		10	
		モグラ上	446外	25	
		細野沢支線	444	10	
		池の平	442外	30	
		池の平支線	439外	10	
		大洞	508外	30	
		大野	528外	10	
		湯船	536外	10	
		金時山	554外	20	
		仁杉	492外	20	
		湯船併用	536外	10	
		湯船支線	546外	20	
		大野支線	526外	10	
		大洞支線	509外	30	
		大野第2支線	528外	20	
		北山支線	523	10	
		唯念寺支線	536	10	
		上井出第2支線	26外	25	
		広見支線	259	30	
		広見東支線	261外	10	
		二子山支線	582	10	
		二子山分線	582外	10	
		大洞第二支線	505	20	
	小 計	60路線		1,245	
計	開 設	15路線		27,480	
	改 良	80路線		2,115	

(注) 災害復旧等緊急を要する工事については、指定箇所以外においても実行できるものとする。

5 治山に関する事項

位 (林 班)	市 町 村	区 分	工 種	計 画 量
5、12、19、27、35、62、68、 85、86、91、96、109、110、 112、113、126、131、136、 141、159、161、164～166、 169～171、210	富 士 宮 市	保 安 施 設	溪 間 工 山 腹 工	4か所 1か所
195、200、202、203	富 士 市		溪 間 工	2か所
491、492、518、523～525、 535、537、538、548～551	小 山 町		溪 間 工 山 腹 工	3か所 2か所
581	御 殿 場 市		溪 間 工	1か所
549、550	小 山 町	治 山 運 搬 路		1か所
合 計		保 安 施 設	溪 間 工 山 腹 工	10か所 3か所
		治 山 運 搬 路		1か所

(注) 1. か所数は単位流域を1か所として集計。

2. 災害復旧等緊急を要する工事については、指定箇所以外においても実行できるものとする。

6 保護林及び緑の回廊の名称及び区域

(1) 保護林の名称及び区域

原生的な森林生態系からなる自然環境、地域固有の生物群集を有する森林及び希少な野生生物の生育・生息に必要な森林の保護・管理を目的として、下記のとおり保護林を設定しており、貴重な天然林等の自然環境維持に配慮しながら適切に保護・管理を図っていくこととする。

区 分	名 称	面 積 (ha)	位 置 (林小班)	特 徴 等	備 考
生物群集 保護林	愛 鷹 山	保存地区 570.17	447 全 448 全 449 全 450 全 451 全 452 い～は、 り、 る～わ、う 453 全	太平洋側気候の影響を受けたブナ、ミズナラ、ヒメシャラ等を主とした落葉広葉樹林であり、林内にはアシタカツツジが自生する。また、原生的なスギ林も残されている。	
		保全利用地区 153.57	404 は 405 は 406 は 411 ほ 412 は2、に2 414 り2 419 ほ、へ2 420 へ2 421 と、ち2、 わ2 422 い8、ろ2 424 ほ2～へ、 と2～り 425 は 429 い、ほ 430 い1～ろ、 ほ2～へ 433 と2、ち2、 ぬ2 434 ろ2、に2、 ほ2、た2 435 へ2、り2、 り4		

区 分	名 称	面 積 (ha)	位 置 (林小班)	特 徴 等	備 考
生物群集 保護林	愛 鷹 山		436 い2、ろ2、 に、ほ2 452 に～へ、 ち2、ぬ2、 か～そ、 つ2、ね2、 む、の		
	富 士 山	保存地区 1027.09	46 い～ろ 47 い 48 い 49 い～ろ 52 い～は 53 い 74 い、 に～へ、 ハ～ホ 122 い1～い4、 に～と4、 ロ～ニ 172 い1～り2 182 い2 185 ち～り 201 ほ～へ 203 ち～り 459 い～ろ、に 464 い～は 470 ろ～は 478 い～ろ 483 い～と、 ぬ～わ、 よ～ね	富士山の西面、山 梨県境に接し、大沢 崩れの左岸にあっ て、標高1,500～2,80 0mに位置する、カラ マツ、イラモミ、ウ ラジロモミ等を主と する大径木が多い天 然林で、富士山の垂 直分布が模式的に見 られる。	
計	2か所	1750.83			

区 分	名 称	面 積 (ha)	位 置 (林小班)	特 徴 等	備 考
希少個体群 保 護 林	富士山 ^{とやづか} 壱塚 ウ ラ ジ ロ モ ミ	4.84	5 ろ	ウラジロモミ、ハリモミ等の針葉樹にブナ、ミズナラ等の落葉広葉樹が混交する天然林。富士山の垂直分布を知る上で貴重である。	
	富士山六番 ブ ナ	6.17	169 ち、か、 そ、ま	富士山の低山帯植生を代表するブナ、カエデ等の落葉広葉樹を主とした天然林。富士山の垂直分布を知る上で貴重である。	
計	2か所	11.01			
合 計	4か所	1,761.84			

(注) 面積欄は、設定区域の全体面積を計上しているが、実際の保護林の面積は、保護林に該当しない区域（貸付地等）を除外した面積である。

(2) 緑の回廊の名称及び区域

緑の回廊は、より広範で効果的な森林生態系の保護・保全に努めるため野生動植物の移動経路を確保し、生息・生育地の拡大と相互交流を促すことが適当と認められる国有林野を選定することとして、下記のとおり設定する。

名 称	延 長 (km)	面 積 (ha)	位 置 (林小班)	特 徴 等	備 考
富 士 山 緑 の 回 廊	24.0	2,119.44	1 全 2 全 4 全 5 い1～い2、 は～と 50 全 51 全 52 に 53 ろ 54～62 全 74 ろ 75～91 全 122 は 123 い1～は 124 い1～ろ 125 全 126 い～ほ2 127 い1～は4 128 い1～は 129～133 全 134 い1～は2 135 い1～は2 173 全 174 い 176 全 177 い1～へ 178 い1～と 179 全 180 全 181 い1～く 182 い1、い3～ ろ4 185 い1～と2、	「富士山生物群集保護林」、「富士山壱塚ウラジロモミ希少個体群保護林」、「富士山六番ブナ希少個体群保護林」の3つの保護林を結び、山梨県有林へとつながる、富士山中腹の標高約1,600mから森林限界の幅で帯状にほぼ一周する地域である。	

名 称	延 長 (km)	面 積 (ha)	位 置 (林小班)	特 徴 等	備 考
富 士 山 緑 の 回 廊			ぬ〜か4 201 い〜に、 と〜る 459 は、ほ〜へ 460〜462 全 463 い〜に 465 い〜ち、ロ 466〜468 全 469 い〜は 470 い、に 471 い〜ほ2、 ト〜ヌ 472 い1〜つ2 473 い1〜り、ロ 474 い〜り 475 い〜は 476 り 483 ち1〜り、 か、む〜う 484 い〜く		
丹 沢 緑 の 回 廊	6.0	593.10	506〜515 全 518 い1〜ぬ 519 い〜に 520 い〜と 521 全 522 い 523 い1〜と 524 い1〜ほ、ハ 525 い1〜ち 526 い1〜と 527 い〜へ 528 全	神奈川計画区の「丹沢山地生物群集保護林」から「西丹沢ブナ希少個体群保護林」、「西丹沢モミ希少個体群保護林」を結び、当計画区の角取山につながる回廊である。	
合 計	30.0	2,712.54			

(注) 面積欄は、設定区域の全体面積を計上しているが、実際の緑の回廊の面積は、緑の回廊に該当しない区域（貸付地等）を除外した面積である。

7 樹木採取区の名称、所在地及び面積

該当なし。

8 レクリエーションの森の名称及び区域

種 類	名 称	面 積 (ha)	位 置 (林小班)	選定理由	施業方法	既存施設の概要	施設整備	備 考
自 然 休 養 林	富 士 山	1,764.98	104 ろ2～ほ2 108 は、に2～へ 111 に～り、ぬ2、 わ～れ2、つ 33.87 114 は、ほ、へ2～る、 わ2、わ4～た 117 ろ～に、へ2、る 133 ろ～に2 136 ろ～に 137 ろ、は 138 ろ、は 139 は、に 171.14 140 ろ、に～へ 141 い1～に 142 は～ほ 143 ろ、は 144 ろ～へ、ち 145 い～ほ 146 ろ～に2 147 は1、は2、ほ～か 148 ろ1～へ2 149 い1～ろ2 150 ろ1～ろ4、に1～へ 152 ろ～に、へ1～へ5、 へ7 153 い 154 ろ1～に 155 い1～ろ	富士山の南面に位置し、富士山を身近に感じながら伊豆半島、駿河湾、南アルプス等の美しい眺望を楽しみ、ヒノキ、モミ等の人工林とブナ、ミズナラ、ダケカンバ、カラマツ等の天然林による多様な森林植生の垂直分布を観察、探索することができる。 区域内を「富士スカイライン」が通り入林しやすい環境にあることから、多くの人々がトレッキングや自然観察等に訪れている。	育成複層林へ導くための施業（以下「育成複層林施業」という。） 間伐面積 70.68ha	整備されている代表的な施設は以下のとおり 実施主体：国 ・遊歩道 実施主体：民間 ・駐車場 ・宿泊施設 ・キャンプ場施設 ・休憩所 ・有料道路	国が実施する施設整備の計画なし	

種 類	名 称	面 積 (ha)	位 置 (林小班)	選定理由	施業方法	既存施設の概要	施設整備	備 考
自 然 休 養 林	富 士 山		156 に1～に7、へ～と6、 り～る、よ、 れ～ね、ら1～ら5 157 ろ1～は、ほ～ぬ、 わ1～か、た 159 ろ～に、へ～る、 か1～た3 160 い1～ろ8、に1、 に2、へ2、と～り2 161 ろ1、ろ2、は1～り、 る～た2 162 い～ち、た、れ 164 い1～ろ2、 ろ4～ろ9、は1～へ、 と2、ち 165 い～は、ほ～と、 り、る、た、つ、ね 166 は1～に2、と、 り～ぬ2、わ 167 ろ1～は 169 い1、い3、い4、 い6、い7、い9、 に1～と、り1～わ8、 ね～ら3、う1～や、 け1～ふ 170 い～と3 171 ろ2、へ1、へ2、 り1、り2、る～よ6、 れ1～な、ら3、む2、		育 成 複 層 林 施 業			

種 類	名 称	面 積 (ha)	位 置 (林小班)	選定理由	施業方法	既存施設の概要	施設整備	備 考
自 然 休 養 林	富 士 山		や～え、あ、き～め 177 ろ～へ 178 ろ1～と 179 ろ1～ろ5 180 い、に～ち3 181 い1～い3、は～ち2、 わ～た、そ1～の1、 く 183 い、は、に 184 い1～い5、に～と2 185 ろ～に、へ1～と2 186 い、は～ほ、わ 187 ぬ 195 ろ1～れ 182 ろ1～ろ4 459 は、ほ、へ 460 ろ 461 ろ 463 い～に 465 い～は、ほ～ち 466 い、に、ほ 467 ろ、は 468 は、に 469 い～ろ 470 い、に 471 い～は2、ほ1、ほ2 472 ろ1～か、た～つ2 473 ろ～に、へ、ち、り 474 い、は～ほ、と～り		育 成 複 層 林 施 業			

種 類	名 称	面 積 (ha)	位 置 (林小班)	選定理由	施業方法	既存施設の概要	施設整備	備 考
自 然 休 養 林	富 士 山		475 い～は		育 成 複 層 林 施 業			
			476 り		天然生林へ導く ための施業（以 下「天然生林施 業」という。）			
			111 る		間伐面積 1. 17ha			
			114 に、れ2					
			117 ほ1、ほ2					
			131 い～は3					
			132 い～ろ					
			133 い1～い2					
			136 い1、い2					
			137 い					
			138 い					
			139 い、ろ					
			140 い、は					
			142 い、ろ					
			143 い					
			144 い、と					
			146 い、ほ1、ほ2					
			147 い1～ろ、に1、に2、 よ					
			148 い1～い4					
			150 い、は					
			152 い、ほ2					
			153 ろ、は					
			154 い					
			156 ほ1～ほ5、 ち1～ち3、わ、か、 た、な					
			157 に1～に3、る1、 る2、よ					

種 類	名 称	面 積 (ha)	位 置 (林小班)	選定理由	施業方法	既存施設の概要	施設整備	備 考
自 然 休 養 林	富 士 山		159 い1、い2、ほ、わ 160 は、ほ、へ1、へ3 161 い1、い2、ろ3、 ろ4、ぬ1、ぬ2、れ 165 に、ち、ぬ、 わ～よ、れ、そ 166 い～ろ5、ほ～へ2、 ち、か 167 い、に1、に2 170 ぬ、る 171 い1～い5、た 177 い1～い3 178 い1～い3 179 い、は 180 ろ、は 181 ろ1～ろ6、り～る2、 れ1～れ3、の2、お 183 ろ、ほ 184 ろ1～は2 185 い1～い3、ほ 186 ろ、る 187 り 195 い1、い2 182 い1、い3、い4 460 い 461 い 462 い 465 に 466 ろ、は、へ		天 然 生 林 施 業			

種 類	名 称	面 積 (ha)	位 置 (林小班)	選定理由	施業方法	既存施設の概要	施設整備	備 考
自 然 休 養 林	富 士 山		467 い 468 い、ろ 469 は 471 に1～に4 472 い1～い6、よ1、よ2 473 い1～い4、ほ、と 474 ろ、へ		天 然 生 林 施 業			
			117 ロ 156 イ 157 イ 161 イ、ロ 162 イ 165 イ1～ハ 166 イ 169 イ、ホ1、ホ2、チ2 170 イ、ニ 171 ロ、ハ 177 イ 178 イ 181 イ～ハ 183 イ 184 イ、ロ 186 イ 187 イ 195 イ 182 イ 465 イ、ロ		林 地 以 外			

種 類	名 称	面 積 (ha)	位 置 (林小班)	選定理由	施業方法	既存施設の概要	施設整備	備 考
自 然 休 養 林	富 士 山		471 イ～ヌ 472 イ～ハ 473 イ、ロ 474 ロ		林 地 以 外			
計	1 か所	1,764.98						

種 類	名 称	面 積 (ha)	位 置 (林小班)	選定理由	施業方法	既存施設の概要	施設整備	備 考
その他 (レクリ エーショ ンの森施 設敷)	高鉢駐車場 (上)	0.16	127 イ	単独レクリエーション施設	林 地 以 外	実施主体：静岡県 ・ 駐車場	国が実施 する施設整 備の計画な し	
	高鉢公衆便所兼駐 車場	0.20	128 イ	〃	林 地 以 外	実施主体：静岡県 ・ 公衆便所ほか ・ 駐車場	〃	
	富士山富士宮口 新5合目駐車場	1.50	172 イ1 イ2	〃	林 地 以 外	実施主体：静岡県 ・ 駐車場	〃	
	富士山富士宮口 新5合目富士山総 合指導センター	0.01	172 ホ	〃	林 地 以 外	実施主体：富士宮市 ・ 総合指導センター	〃	
	富士山富士宮口 5合目公衆便所	0.13	172 イ2 ハ1 ニ	〃	林 地 以 外	実施主体：国 ・ 公衆便所ほか	〃	
	富士山須走口 新5合目駐車場	1.71	500 ツ	〃	林 地 以 外	実施主体：小山町 ・ 駐車場ほか	〃	
	富士山須走口 新5合目公衆便所	0.01	500 ツ	〃	林 地 以 外	実施主体：小山町 ・ 公衆便所	〃	
	富士山須走口 新5合目富士急登 山バス 駐車場	0.08	500 ハ ツ	〃	林 地 以 外	実施主体：民間 ・ 路線バス停留所兼 待機所	〃	

種 類	名 称	面 積 (ha)	位 置 (林小班)	選定理由	施業方法	既存施設の概要	施設整備	備 考
その他 (レクリ エーショ ンの森施 設敷)	富士山須走口 古御岳神社	0.03	500 ラ	〃	林 地 以 外	実施主体：民間 ・社殿ほか	〃	
	富士山須走口 御胎内神社	0.01	500 ル	〃	林 地 以 外	実施主体：民間 ・社殿ほか	〃	
	富士山富士宮口 6合目登山人休泊 所 雲海荘	0.03	172 ロ1	〃	林 地 以 外	実施主体：民間 ・宿泊施設	〃	
	富士山富士宮口 6合目登山人休泊 所 宝永山荘	0.03	172 ロ1	〃	林 地 以 外	実施主体：民間 ・宿泊施設	〃	
	富士山富士宮口 新7合目登山人休 泊所 御来光山荘	0.06	172 ロ2	〃	林 地 以 外	実施主体：民間 ・宿泊施設	〃	
	富士山富士宮口 元祖7合目登山人 休泊所 山口山荘	0.08	172 ロ3	〃	林 地 以 外	実施主体：民間 ・宿泊施設	〃	
	富士山御殿場口 旧3合目登山人休 泊所	0.07	499 ヌ1 ヌ2	〃	林 地 以 外	実施主体：民間 ・宿泊施設	〃	
	富士山御殿場口 新6合目登山人休 泊所 新六合目	0.02	499 ル	〃	林 地 以 外	実施主体：民間 ・宿泊施設	〃	

種 類	名 称	面 積 (ha)	位 置 (林小班)	選定理由	施業方法	既存施設の概要	施設整備	備 考
その他 (レクリ エーショ ンの森施 設敷)	富士山御殿場口 7合目登山人休泊 所 日の出館	0.07	499 チ1 チ2 ト1 ト2	〃	林 地 以 外	実施主体：民間 ・ 宿泊施設	〃	
	富士山御殿場口 7.4合目登山人休 泊所 わらじ館	0.03	499 ホ	〃	林 地 以 外	実施主体：民間 ・ 宿泊施設	〃	
	富士山御殿場口 7.5合目登山人休 泊所 砂走館	0.05	484 ホ	〃	林 地 以 外	実施主体：民間 ・ 宿泊施設	〃	
	富士山御殿場口 7.9合目登山人休 泊所 赤岩八合館	0.08	484 チ ヌ	〃	林 地 以 外	実施主体：民間 ・ 宿泊施設	〃	
	富士山須走口 5合目登山人休泊 所 山荘菊屋	0.04	500 ニ	〃	林 地 以 外	実施主体：民間 ・ 宿泊施設	〃	
	富士山須走口 5合目登山人休泊 所 東富士山荘	0.07	500 ホ	〃	林 地 以 外	実施主体：民間 ・ 宿泊施設	〃	
	富士山須走口 砂払5合目登山人 休泊所 吉野屋商 店	0.05	500 チ	〃	林 地 以 外	実施主体：民間 ・ 宿泊施設	〃	
	富士山須走口 新6合目登山人休 泊所 長田山荘	0.02	500 ム	〃	林 地 以 外	実施主体：民間 ・ 宿泊施設	〃	

種 類	名 称	面 積 (ha)	位 置 (林小班)	選定理由	施業方法	既存施設の概要	施設整備	備 考
その他 (レクリ エーショ ンの森施 設敷)	富士山須走口 本6合目登山人休 泊所 瀬戸館	0.03	500 ヌ	〃	林 地 以 外	実施主体：民間 ・宿泊施設	〃	
	富士山須走口 7合目登山人休泊 所 大陽館	0.06	500 ワ	〃	林 地 以 外	実施主体：民間 ・宿泊施設	〃	
	富士山須走口 本7合目登山人休 泊所 見晴館	0.04	500 カ	〃	林 地 以 外	実施主体：民間 ・宿泊施設	〃	
	富士山須走口 8合目登山人休泊 所 江戸屋	0.03	500 ヨ	〃	林 地 以 外	実施主体：民間 ・宿泊施設	〃	
	登山人休泊所用 物資倉庫・ブル ドーザー発着基地	0.03	500 ロ	〃	林 地 以 外	実施主体：民間 ・物資倉庫ほか	〃	
	富士山須走口 避難小屋 秀峰山 の家	0.01	500 そ	〃	天然生林施 業	実施主体：民間 ・避難小屋	〃	
	富士山須走口イン フォメーションセ ンター	0.02	500 ハ	〃	林 地 以 外	実施主体：国 ・案内所	〃	
計	31か所	4.76						
合 計	32か所	1769.74						

9 国有林野と一体として整備及び保全を行うことが相当と認められる民有林野の整備及び保全等に関する事項

(1) 森林共同施業団地の名称及び区域

名 称	対 象 地 (林小班)		面積(ha)	協 定 の 概 要
富 士 山 西 麓 共 同 施 業 団 地	民		1.271	民有林と国有林を連結した路網の整備と相互利用による低コストで効率的な間伐等の実施 設 定 年 月：平成24年3月 協 定 名：富士山西麓森林整備推進協定 協 定 期 間：令和8年4月～令和13年3月 協定相手方：富士宮市、上井出財産区、日本製紙株式会社、静岡県富士農林事務所
	国	6～8 全 10～15 全 17～22 全 24～30 全 32 全 33 全 35～39 全 41～43 全 45 全 63～67 全 92～95 全 97～99 全 101～103 全 105～107 全 109～111 全 112 全 113 全 115 全 116 全 246～267 全 284～300 全	3,330	
小 山 町 森 林 共 同 施 業 団 地	民		200	民有林と国有林を連結した路網の整備と相互利用による低コストで効率的な間伐等の実施 設 定 年 月：平成28年3月 協 定 名：小山町森林整備推進協定 協 定 期 間：令和8年4月～令和13年3月 協定相手方：小山町、静岡県東部農林事務所
	国	505～514 全 518 全 519 全 520 内 523 全 524 内 525 内 526 内 527 内 528 全 529 内 530 内 531 内	1,310	

名 称	対 象 地（林小班）		面積(ha)	協 定 の 概 要
小 山 町 森 林 共 同 施 業 団 地		532 内 533 内 534 内 535 内 536～539 全 540 内 541～551 全 553～556 全 558～560 全		
合 計	民		1,471	2箇所
	国		4,640	

（２）公益的機能維持増進協定の名称及び区域
該当なし。

10 その他必要な事項

(1) 施業指標林、試験地等

種 類	名 称	設定年月	面 積 (ha)	位 置 (林小班)	備 考
施 業 指 標 林	天然林施業指標林	昭和63年3月	2.54	39は1	天然林施業の確立
施 業 指 標 林 計			2.54		
試 験 地	富士ウラジロモミ 収 穫 試 験 地	昭和39年	0.34	161は1、は2	成長量・収穫量及び林 分構造の推移の解明
	広葉樹及び針広混 交林の保全試験地	平成22年4月	45.88	6い、ろ1、 ろ2 13い1～は2	広葉樹林及び針広混交 林の保全に関する研究 のため
	超緩効性肥料を用 いたエリートツ リー等コンテナ苗 試験地	令和7年4月	2.28	267ろ2	超緩効性肥料を用いた エリートツリー等の成 長促進効果等と再造林 低コスト化の検証
試 験 地 計			48.50		
次 代 検 定 林	一 般 検 定 林 (関 東 2 0 号)	昭和50年4月	1.55	104は1、は2	遺伝的生産能力の検 定 (カラマツ)
	一 般 検 定 林 (関 東 2 0 号)	昭和50年4月	0.55	152へ2	遺伝的生産能力の検 定 (カラマツ)
	一 般 検 定 林 (関 東 3 5 号)	昭和53年3月	1.16	401と	遺伝的生産能力の検 定 (ヒノキ)
	遺 伝 次 代 検 定 林 (関 東 6 0 号)	平成4年3月	0.58	416ち2～ち5	形質に関する遺伝特 性の解明 (ヒノキ)
	育 種 集 団 林 (関 東 6 6 号)	平成15年4月	0.51	422い6	第二世代品種の選別 ・検定 (スギ)
	育 種 集 団 林 (関 東 7 9 号)	平成29年6月	0.39	202そ11、 そ12	第二世代品種の選別 ・検定 (スギ)
	育 種 集 団 林 (関 東 8 1 号)	令和元年7月	0.72	536に2～に5	第二世代品種の選別 ・検定 (スギ)
次 代 検 定 林 計			5.46		
遺 伝 子 保 存 林	ウ ラ ジ ロ モ ミ	昭和48年4月	3.74	141い1	
遺 伝 子 保 存 林 計			3.74		

種 類	名 称	設定年月	面 積 (ha)	位 置 (林小班)	備 考
精 英 樹 保 護 林	ス ギ 沼 津 (4 号)	昭和37年	0. 61	560ろ	
	ス ギ 沼 津 (1 0 1 ～ 1 1 6 号)	昭和40年	単木 指定	452は	
	ヒ ノ キ 沼 津 (3 号)	昭和35年	単木 指定	560ろ	
	カ ラ マ ツ 沼 津 (1 0 1 ～ 1 0 2 号)	昭和37年	単木 指定	500い	
	カ ラ マ ツ 沼 津 (1 0 7 ～ 1 1 5 号)	昭和37年	単木 指定	500い	
	ウラジロモミ静岡 (1 0 1 号)	昭和37年	0. 08	8と	
	ウラジロモミ静岡 (1 0 2 号)	昭和37年	0. 15	8ち	
	ウラジロモミ静岡 (103、112～115号)	昭和38年	2. 15	62ほ	
	ウラジロモミ静岡 (1 0 4 、 1 0 5 号)	昭和38年	9. 78	13い1	
	ウラジロモミ静岡 (1 0 6 ～ 1 0 9 号)	昭和38年	6. 83	13い2	
	ウラジロモミ静岡 (1 1 0 号)	昭和39年	0. 23	201と	
	ウラジロモミ静岡 (1 1 1 号)	昭和39年	0. 25	179は	
	ウラジロモミ静岡 (1 1 6 ～ 1 1 7 号)	昭和39年	0. 17	18へ	
	ウラジロモミ沼津 (1 0 1 ～ 1 0 3 号)	昭和37年	単木 指定	467い	
	ウラジロモミ沼津 (1 0 4 ～ 1 0 5 号)	昭和37年	単木 指定	500い	
	ウラジロモミ沼津 (1 0 6 ～ 1 0 8 号)	昭和38年	単木 指定	483と	
	ウラジロモミ沼津 (1 0 9 ～ 1 1 0 号)	昭和39年	単木 指定	464ろ	
精 英 樹 保 護 林 合 計			20. 25		

種 類	名 称	設定年月	設 定 延 長 (m)	位 置 (林小班)	備 考
溪畔保全プロジェクト 林	(設 定 河 川 等) 富 士 川 (栗 ノ 木 沢)	平成28年3月	6,000	6 ～8 全 10 ～15 全 17 ～22 全 24 ～30 全 32 ～33 全 35 ～39 全 45 全 246～267全	
合 計			6,000		

(2) フィールドの提供

対象地（林小班）	設定の目的	備 考
161ろ3、ほ 166ろ2	ふれあいの森 （富士山クラブ西臼塚ふれあいの森）	設 定：平成12年9月 実施主体：認定特定非営利活動法人 富士山クラブ 面 積：1.77 ha
156ら2 157ほ 162た、れ 170へ2、と1、ち	ふれあいの森 （富士山どんぐりの森）	設 定：平成13年4月 実施主体：特定非営利活動団体 どんぐり 面 積：4.35 ha
200と	社会貢献の森 （富士山の森再生プロジェクト）	設 定：平成19年4月 実施主体：特定非営利活動団体 どんぐり 面 積：4.41 ha
546ろ2	社会貢献の森 （ドンぐリの森）	設 定：平成18年2月 実施主体：特定非営利活動団体 どんぐり 面 積：1.98 ha
200た	社会貢献の森 （富士山森の復元活動）	設 定：平成15年6月 実施主体：特定非営利活動法人 山の自然学クラブ 面 積：4.56 ha
482い16	社会貢献の森 （東富士湧水涵養の森）	設 定：平成13年4月 実施主体：柿田川・東富士の地下水を守る連絡会 面 積：4.92 ha
199よ1	社会貢献の森 （ブナ林創造事業）	設 定：平成14年6月 実施主体：富士マウントライオンズクラブ 面 積：0.17 ha
161ろ4、れ 166へ1、へ2、 ぬ1～る 171い3、ち、る、 か3、よ6、れ1、 れ2、や～け、 ふ2、ふ3、 こ1～こ5、え、 あ、さ	社会貢献の森 （富士山「まなびの森」）	当初設定：平成28年2月 実施主体：住友林業株式会社 面 積：34.90 ha ※令和5年3月に、171さ林小班0.08haを追加設定。
161ろ1、ろ2 162い、へ～ち 166ろ1、は3～ほ、 と～り、わ、か 167い、ろ5 171い1、い2、い4、 ろ2、へ1、へ2、 り1～ぬ、 わ～か2、 よ1～よ5、た、 そ1～ね1、ふ1、 ふ4、ふ5、こ6	多様な活動の森 （富士山「まなびの森」）	設 定：令和4年4月 実施主体：住友林業株式会社 面 積：60.45ha

対象地（林小班）	設定の目的	備 考
184ろ1 196い4	遊々の森 （富士山麓ブナ林創造事業）	設 定：平成18年12月 実施主体：富士市 面 積：3.21ha
171ら3、き～め 195に～れ	社会貢献の森 （新規設定対象予定地）	面 積：1.93ha

(3) その他

レクリエーションの森以外の森林空間利用タイプの施業方法

位 置		面 積 (ha)	施業方法
164	ろ10	7.71	育成単層林業 施業
477	ろ2		
1	い1～ろ5	816.94	育成複層林業 施業
2	い～ほ		
4	い1、い2、ろ～は3		
5	へ2～と		
6	ろ3		
7	い1～ろ2		
8	い～へ		
10	い、ろ、は2～ほ3		
11	は		
12	に		
13	に、ほ		
14	い～ほ		
15	ろ～と8		
20	い～へ		
21	い1～へ		
22	い1～へ、ち、り		
58	ろ2		
60	い2、は		
61	い		
63	は～ほ		
64	い1		
65	は2		
66	ろ、は		
67	い～は		
88	ろ		
89	ろ		
92	に		
93	ろ、は2		
94	は		
95	ろ		
117	と2～ぬ		
156	ろ、は		
157	い		
162	り～よ		
169	ろ、よ～れ		
170	れ1、れ2、つ1、つ2		
171	ろ3、ろ6、と、ら1、ら2、む1、の1、の2、く、て		
439	へ		
440	へ		
441	は、に		
463	ほ		
469	に、へ		
472	ね		
473	ぬ、る		
474	ぬ、わ、か		
475	に～ら		
476	い～ち、ぬ～わ3		
477	い1、い3、は、に、と		
479	ろ、は		
566	は2		
575	ろ1、ろ2		
577	へ、ち		

位 置		面 積 (ha)	施業方法
1	は	123.69	天 然 生 林 施 業
7	は		
15	い		
22	と		
156	い		
170	た、そ		
437	へ		
438	ろ		
469	ほ		
474	る、よ		
477	ほ、へ		
478	は		
479	い		
570	ほ		
571	と		
572	い		
575	い、に		
576	い		
577	ほ、と		
169	ハ1、ハ2、ト1～チ1	9.16	林 地 以 外
474	イ		
475	イ		
476	イ		
477	イ		
479	イ		
571	イ		
計		957.50	

(注) (1)、(2)の箇所を除く。